

国道 55 号日和佐道路

国道 55 号の現道は徳島市と高知市を結ぶ徳島県南地方の幹線道路ですが、災害危険箇所が多数あるため、異常気象時には通行規制が行われています。国道 55 号日和佐道路（阿南市福井町小野～美波町北河内間 9.3km）は、国道 55 号現道の代替路であり、通行規制を解消し常時通行可能な自動車専用道路として、地域の人々の利便性向上や救急医療施設などへのアクセス向上を図り、地域活性化を支援するものです。また、日和佐道路は地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部として四国 8 の字ネットワークを形成し、四国東南地域の広域的な交流連携の促進に資するものです。

日和佐道路は平成 7 年度に事業化され、平成 11 年度に工事着手、平成 19 年 5 月に由岐 IC～美波町北河内間 6.2km が部分開通しました。その後、平成 23 年 7 月に阿南市福井町小野～由岐 IC 間 3.1km が開通し、これで全線開通となりました。日和佐道路の開通により、国道 55 号現道と日和佐道路を合わせた交通量の約 8～9 割が日和佐道路を利用しています。また、国道 55 号現道と日和佐道路を合わせた由岐 IC～美波町北河内間の断面交通量は、開通前の平成 17 年と比べて、全線開通後の平成 28 年には約 3 割増加しています。

日和佐道路の開通による効果として、第 1 に信頼性・安心感の向上があげられます。国道 55 号現道では異常気象時の通行規制時間が年平均約 40 時間に及んでいますが、日和佐道路は常時通行が可能ですので、幹線道路としての信頼性及び利用者の安心感が向上しています。

第 2 に安全性が向上しています。国道 55 号現道には急カーブが 23 箇所あるのに対して、日和佐道路には急カーブがありません。国道 55 号現道と日和佐道路を合わせた死傷交通事故件数は、開通前の平成 17 年と比べて、全線開通後の平成 26 年には約 9 割減少しました。

第 3 に救急搬送の支援です。海部郡から小松島市などの 3 次救急医療機関には年間約 200 人が救急車で搬送されていますが、速達性・走行性の高い日和佐道路が救急搬送を支援しています。平成 26 年 8 月の台風 12 号・11 号では、大雨のため国道 55 号現道が約 83 時間全面通行止めとなりましたが、この期間に日和佐道路を通じて 5 回の救急搬送が円滑に行われました。

第 4 に地域防災機能の向上です。平成 23 年の東日本大震災では自動車専用道路の盛土構造が住民の避難を助ける役割を果たし、津波被害を軽減しました。この教訓を踏まえて、日和佐道路の整備に合わせて、田井地区、木岐地区、北白浜地区に、津波発生時に地域の人々が緊急避難できるよう避難路が整備され、地域防災機能が向上しています。

平成 28 年 3 月には、日和佐病院と由岐病院が統合して、津波の被害を受けない日和佐道路の由岐 IC 付近の高台に美波病院が開院し、日和佐道路を利用した救急搬送や通院が行われて地域医療に貢献するとともに、災害時の医療拠点としての役割も期待されています。

<参考文献：四国地方整備局事業評価監視委員会資料、四国クリエイト協会「会報クリエイト No. 58 (2021 年 7 月)」など>

